「第２次大阪府スポーツ推進計画」（案）に対するご意見と大阪府の考え方について

■募集期間：平成２９年９月２９日（金曜日）から平成２９年１０月３０日（月曜日）
■応募方法：郵便、ファクシミリ、インターネット
■募集結果：１名から１件の意見提出がありました。（うち公表を望まないもの０件）

	項目	意見内容	大阪府の考え方
1	４．２本の『柱』に基づく施策の展開	（4）のスポーツを通じた地域・経済の活性化についてです。 現在、国内では新たなスポーツの形として既に海外でかなりの人気を誇るようになったe-Sportsが注目を集めています。 e-Sportsとは、テレビやコンピュータのゲーム（所謂デジタルゲーム）をスポーツの枠に落とし込んだものですが、このe-Sportsは大阪とかなり融和性のあるスポーツだと感じます。e-Sportsの大会は主にインターネットのオンライン上で行われる場合と、実際に一つの会場に集まりスポーツイベントと同様に行うものの2つがありますが、いずれにしても大会の運営企業や会場は東京にある場合が殆どで、大阪に根を張ったe-Sports関係のイベントは殆ど存在しません。 しかし、大阪にも日本橋に代表される電気街があり、若者も多く、新しい文化に寛容な風土があります。また、マインドスポーツとも呼ばれる将棋や囲碁も盛んです。また既にe-Sportsが定着している韓国の出身者も多く、e-Sportsが流行る土壌は揃っていると感じます。 そこで、国内のe-Sports関係企業の誘致や専用会場を建設し国際的なe-Sports大会の誘致、究極的には日本やアジアのe-Sportsの中心地としての役割を担えるようなまちづくり政策を行ってみては如何でしょうか。 そうすれば国内外からの観戦者の増加や新たな娯楽としてのゲーム観戦というジャンルの開拓、若者の増加に繋がり、総合的に新たなスポーツビジネスの創出になります。またe-Sportsを扱う専門学校や大学でe-Sportsの強いクラブが生まれ、新たなアスリートの育成にもなると考えます。	「eーSports」は、2022年に中国で開催されるアジア競技大会の新たなメダル種目として加えられたほか、国際オリンピック委員会が五輪採用に向けて検討を始めるなど「新形態のスポーツ」として関心が高まっており、府としても国内外の動向等を注視していきます。いただいたご意見については、今後の取組みを進める上での参考とさせていただきます。